

みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡県清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

平成24年度 清水港湾事務所直轄事業の概要

～ 清水港湾事務所は、「安心して元気な日本」をつくります ～

日本有数のものづくり地域・静岡に立地する産業の元気は、生産・雇用・所得等に直結した“日本経済の元気の源”です。主要産業の輸送効率化を図る「港湾骨格基盤の提供」により震災後の我が国再生に向けて“日本経済の元気”を支えます。

また、大規模自然災害への対応が国家的な課題となっており、国際輸送にはテロ対策が必須な世界情勢です。「ハード&ソフト両面の防災対応」や「保安対策の検査」を通じて安心な日本を維持します。

清水港

(事業費：約18.6億円)

新興津地区国際海上コンテナターミナル整備事業

(平成27年度完了目標、岸壁及び泊地 平成24年度完了目標)

清水港に入港するコンテナ船の大型化に対応し、“潮待ち”などの非効率を解消するため、現在供用中の新興津コンテナターミナル第1バース(耐震強化岸壁)に隣接して、新たに第2バース(耐震強化岸壁)を整備しています。

今年度は、岸壁及び防波堤の設置工事と泊地浚渫工事を行ないます。



田子の浦港

(事業費：約21.0億円)

中央地区国際物流ターミナル整備事業(耐震改良)

(平成25年度完了目標、岸壁 平成22年度完了済)

田子の浦港中央地区岸壁は、田子の浦港の取扱貨物量の約40%を扱う中心的な岸壁ですが、老朽化が進み、船舶の大型化に対応できず背後企業の荷が他港から陸送されるなどの非効率な状況が発生しているため、現在大型化対応の整備を進めています。

このうち、耐震強化岸壁(地震災害時に緊急物資輸送に活用可能)については既に完成・共用しており、今年度は航路・泊地の浚渫(しゅんせつ)工事を進めます。



御前崎港 (事業費:約7.3億円)

御前崎港内の静穏度確保のための防波堤整備
(防波堤(東)平成26年度完了目標、防波堤(西)平成27年度完了目標)

御前崎港女岩地区では既に国際物流ターミナルが供用しており、コンテナ船や自動車運搬船が利用しています。

より一層の利便性や安全性確保のため、港内の静穏度を高める防波堤(東)の整備を推進します。また、既存の防波堤(西)については、津波に対し粘り強い構造とするための改良を進めます。

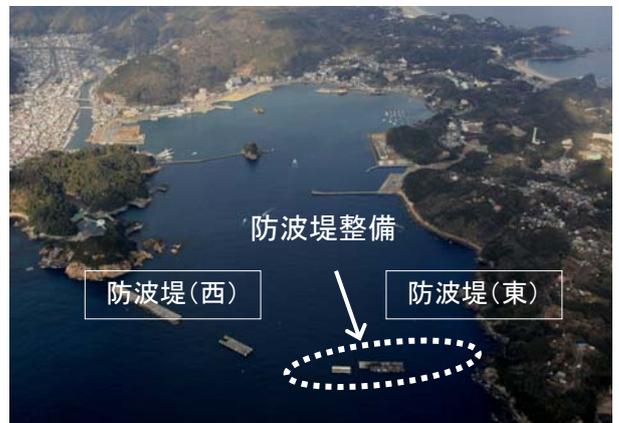


下田港 (事業費:約11.7億円)

船舶の避泊面積の拡大および津波防護のための防波堤整備
(平成32年度完了目標)

下田港は、周辺海域が複雑な地形と厳しい海象条件のため海難事故が多発する海域であり、古くから海の避難場所(避難港)として利用されています。

現在進めている防波堤整備は、避泊船舶を守るためだけでなく、大規模地震による津波から背後の住民や財産を守る津波低減効果も見込んでいます。防波堤の整備にあたっては“国内有数の大水深(水深40m)”かつ“海象条件が厳しい”という現場条件ではありますが、安全に施工を実施してまいります。



〈新年度のあいさつ〉

清水港湾事務所長 佐々木 純

新年度最初のみなとしみずの発行なので、新年度のあいさつとなっておりますが、すでに5月下旬であり、いささか調子はすれとなっておりますがご容赦願います。今年度も「安心で元気な日本」づくりに取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

先号でも触れた内閣府中央委防災会議による南海トラフの巨大地震(東海・東南海・南海地震)による最大クラスの津波高の推計結果が3月31日に発表となりました。静岡県内では従来の推計をはるかに上回る結果となっており、いまだ衝撃さめやまぬところですが、今後発表される詳細なシミュレーション結果を踏まえつつ、出来る限りの対応をしていこうというのが港湾関係者の一致した思いであると承知しています。安全に避難するとともに、生活や経済を支える港湾を早期に復旧する、また必要な港湾機能の向上を図る、そのための対策について関係の皆様とともに取り組みます。

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間:9時30分~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)
☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

白崎・高木 Tel 054-352-4148

ご意見ご感想をお寄せ下さい。

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp